

地域懇談会実施報告書

自治会名 館之内自治会

開催日 8月29日(水)

時間 19:00~21:10

開催場所 館之内公民館

参加人数 20人

懇談内容 別添 議事録

質問等後日回答を要するもの

情報センターにおける有害サイトへのアクセス規制について
農具川河川敷樹木伐採について

対応

行政側参加者 職氏名

庶務課長 酒井 富雄

記録者 所属 社公民館

氏名 小林 悠

館之内地区地域懇談会議事録

1. 自治会長あいさつ

協働のまちづくりを公約に市長に就任した牛越市長を今日はお招した。就任から1年と1ヶ月を経過して、今後のまちづくりの計画をお聞きし、活発な意見交換をしたい。

2. 市長あいさつ

就任して1年1ヶ月が経過し、皆様のご協力に御礼申し上げます。現在、国や県でクールビズに取り組んでいるが、市としても取り組んでおり、本日はノーネクタイで失礼する。昨年までは市政懇談会として、社地区全体で行政との懇談会をしていた。主に行政に直接かかわる自治会長さんや団体の役員の皆さんが中心であったが、今年は各自治会、市民の皆さんと話をしたいということでこのような形になった。今回で9回目、社では1回目ということになる。来年中くらいまでには一巡し、その後も二巡、三巡と続けていきたい。

お手元に第4次総合計画のパンフレットをお配りしたが、これは議会の皆様と相談し、10年後までを見越して作ったもの。表紙の“きらり輝く”とは、皆さんの顔や町がきらきらと輝くように、また美しく豊かな自然や文化や歴史、特に館之内は仁科氏の館があった場所でもあり、そのような文化や歴史を大切にしていきたいことを掲げている。

2ページにある計画の目的は、少子高齢社会に対応していくもので、まず市民と行政が協働していき、行政は市民に対して達成目標や説明をして住民に参加していただくこと、計画の実現のために国や県に対して支援と協力を要請していくというもの。

3ページの2項目に協働つまり市民参加と同じ意味だが、市民のニーズが多様化しており、それに対応するには市民の知恵や声が必要で、3項目にあるようにどの事業を優先するのか決めてもらうなど市民に参加してもらうというもの。財源が限られていることもある。

4ページには課題、8ページには公約であった5項目をさらに検討し、6項目のめざすテーマとして載せてある。9ページ以降にはそのテーマの一つ一つを具体的に細かく載せてある。本日は時間が限られているので、また後でご覧いただきたい。

これはダイジェスト版であり、もともとは143ページからなる計画。前期5ヵ年、後期5ヵ年とし、見直しをかけ追加や削除をしながら、時代にマッチしたものにしていきたい。

前とは違った形で、今日は市からは、私と酒井庶務課長のみが出席している。答えられないことは後日お答えすることをお願いしたい。

3. 懇談

自治会長

質問のある方はどなたでもどうぞ。

出席者

仁科氏文化があるが、まちづくりに活かされていないのではないかと。市民が地域文化を誇りにしていくべきだと思う。また、黒部ダム観光など、市民が依存する傾向がある。松

川村などは資源がなくても住民が創造し自立している。変えていかなければいけない。

市長回答

大町は地域資源がたくさんある。アルプスや水、空気など。黒部ダムは関電が造り、昭和電工や東洋紡などの企業も外から入ってきたものであり、大町の人々が自ら造ったというものではない。これからは自分達で何かを創らなければ、人を呼ぶことはできない。松川村などはそれを努力して今花開いている。西澤さんは様々な大町のいいところを取り上げたパンフレットを作り、地域文化を発掘してくださっている。民俗資料館の山田館長に前にお聞きしたが、中年の女性グループが松本に泊まり、安曇沓掛駅まで電車で来て降り、宮本の神明宮から民俗資料館まで歩いて来たという。更に山岳博物館まで行き、下って塩の道博物館、大町駅まで歩くコースがあると聞いた。地元の人々のほうがあまり知らないことである。このまわりにも竈神社や仁科神社など観光資源になるものがある。アイディアの段階だが、本通の裏に昔からの川が流れているが、そこを遊歩道にして観光客に本通りだけでなく、裏側にも回ってもらえるようにしたらどうかという提案をある人からもらっている。また、町屋を使ってまちづくりグループが「おざんざ」などを出している。

出席者

社の観光のひとつでもある民俗資料館への道路が大型バスの乗り入れできない状態。連合自治会でも市政懇談会等でもずっとお願いしている。地主との関係もあるが、せっかくの文化財がもったいない。以前直売所をやっていた側から、又は、環境プラント側から進入路を作るなど具体的な案も出ている。駅から直通のふれあい号などをだしてはどうか。活性化をはかるならそこを考えるべき。

市長回答

現地はかなり急な勾配であるため、道路を作るとなるとかなりの予算が必要と予想される。しばらく前には道路事業予算が2億あった時代が今は5千万円ほどになり、新しく道路を作るより補修する事業が主である。

出席者

宮本の県道工事はできているが。

市長回答

宮本のか所は道路の見通しが悪く、危険であるということから県が行っている工事。民俗資料館前は市道である。民俗資料館の南に昭和電工の用水路があるが、その近辺を来年県が水路改修工事を行う予定になっている。それに合せて何らかの改良が可能か宿題とさせていただく。

出席者

常盤に国営公園を作っているが、西の山に作っているのでせっかくのアルプスを見ることができない。市内でアルプスを展望するには鷹狩山しかないが、遊歩道などを作ってパノラマを見られるようにしたらどうか。例えば、大峰のキャンプ場を八坂まで広げるなどしてみてもどうか。また、車にのっているの景観も大事だが、県道沿いの林の下草を刈るだけでもすっきりしてよいのではないか。白馬などは実施しており見たところよい。大町スキー場への道など道路から見える範囲の下枝を下ろすだけでも違うと思う。大町に入ったという感じをだしてみてもどうか。

市長回答

猿害対策のため、常盤泉の地権者の人達が少しずつお金を出し合って、間伐や下草や下枝をなくし猿が出現しにくくしている。この取り組みが好評で、日向山から扇沢まで今年に行っている。その後温泉郷でも行い、道路沿いの林の中を人が歩けるようにしている。林の中をきれいにする取り組みは、オリンピックの時に行ったが、これは本気でやろうとすることが大切。国も間伐を入れる補助金を来年から厚くすると聞いており、県も森林税として1世帯あたり500円程度の課税を検討している。

前段のアルプスの眺望については、車を止めて眺められるポイントを作って行きたい。国土交通省で眺望がすばらしいところを募集しているので、積極的に参加して行きたい。車が数台止められる場所を作ることが必要だと思う。鷹狩山もきらり輝くの補助金で整備している団体があり、私も行くたびに作業をやっているのを目にしている。県外からの観光客もきていた。

出席者

10年位前に朝の3時くらいに登ったが、とても眺めがすばらしかった。

出席者

関連して、観光地はマスコミのPRが大切だと思う。わっぱランドに関係しているが、テレビを観て北九州からや関西から来たと言う人達 came ことがある。

市長回答

平上原には、田んぼに入れる水をぬるめるための施設がある。県下でも軽井沢と上原だけであり珍しい。

出席者

アルプスの観光について、都会の人で定住したいと言っている人が何人かいた。丹生子から山下までの眺めがとてもいいと思う。池田町の美術館に絵を描きに来ている人がたくさんいる。私は木舟に土地があるが、譲ってくれと言う人が結構いる。住んでいる私にはよくわからないが、都会の人にはいいようだ。遊休農地も活用して、定年後の人達が住めるようにしたらどうか。

市長回答

宮本に画家の田中春弥さんが定住されている。社は絵になりやすいようで描くのにとてもいい環境のようだ。この環境を定住につなげて行きたい。家を建てたい人には土地を提供できるようになれば良いと思う。家を借りたい人には現在自治会にお願いして、外からの問合せに情報を出せるように整えている。

出席者

新聞に常盤の人が地蜂のせんべいを作ったと出ていた。常盤の人はよくいろいろなことをしていると思う。

市長回答

地元ではあたり前のものでも、外に出るととても評価されることがある。2010年に全国ハチサミットが大町で開かれるように市でも応援していきたい。農業も様々な工夫をしているようで、米の種類を変えて収穫の時期をずらし、労力を減らす工夫をされている。今後農業はどのようにしていったらよいか、JAの方に聞いてみたい。

出席者

大北は米に偏っている。ほかのものにしていかなければ、米の値段が下がっていい

るので、頼ってはいは難しいと思う。

市長回答

伊那は協同が進んでいて、リンドウやトルコギキョウなどの花作りや、梨も元々二十世紀品種があったが、豊水などに換えていった。ほかにも、ねぎを皮をむいて出荷する機械を10件くらいの農家で入れて、今ではシェアを取れるまでになっている。

出席者

長野方面に行ったら、全て100円で野菜を売っている店があった。生産者が、毎朝品物を持ってきて、夕方売れ残ったものを回収するそうで、鮮度もよくお客もすぐ入っていた。中野インターを降りてすぐのところにあった。中野は観光資源が無いところだったが、中山晋平の歌を歌わせるなどの観光をつくっていた。

市長回答

中野市は県にいた時に様々な企画を持ってきた。中山晋平の公園や温泉を掘り当ててぼんぼこの湯なども作っている。大町にも白馬に行く人達にとまってもらえるように道の駅の案がでている。木崎湖のゆ〜ぷるの駐車場を改良する案や、高瀬川沿いのオリンピック道路や、野口の跨線橋のあたり、東洋紡の跡地などの候補がある。駐車場やトイレなどは行政側で行うが、その中のお店やレストランなどは民間事業者によるものであり、そうした方たちとも今後も検討して行きたい。

出席者

畑で作物を作っても猿やタヌキ、キツネなどが出て自分達が食べるに至らない。平上原などは作るものがなく、そばやひまわりまで食べられてしまう。市で駆除してほしい。

市長回答

県の担当で、駆除するには許可が必要であり、市からも働きかけて行きたい。しかし猿に関しては猟友会も駆除を敬遠するようだ。猿は群を全滅にすると、違う群が移り住んでしまったり、違う問題もおきてしまうと聞く。猿にセンサーをつけて監視員、モンキードッグによる追い払いなどを組み合わせて対策していきたい。

出席者

平上原は猿が柵をこえてしまうことや、おどしなども効果がなくなっている。

市長回答

昨年、宮本地区の柿取り隊に参加した。地区内の柿を住民が協力して取り、猿の出没を防ぐものであるが、ちょうど始まる前に猿が出て追い払いを行った。本気で追うと効果があるようだ。

出席者

昼間名店街を通ったら3軒くらいしか店が開いていなかった。本通もシャッターを閉めている店が多い。朝市や夕市などをしてみてもどうか。

市長回答

商店街は今年、例年に比べて多く人が通ったといわれているが、しかし実際、人があまり歩いている様子ではない。大町の商店街は駅前から王子神社までの約1.5kmの商店街というほかの地域には少ない。ブロックごとに商店街をまとめてみてはという案もある。また、店を貸すことに補助金を出すことも行っている。店をやめても2階に住んでいてなかなか貸すことができないところもあり、考えていかなければいけない。総合福祉センタ

ーに来ている人に町を歩いてもらうよう提案があった。朝市については3年くらい前に企画されたが、商店街の青果店への影響があるとの意見があり、実施に至らなかった。

出席者

街の中に遊歩道を整備して、ポケットパークにも何かを仕掛け、例えばくじを引くなど企画してみてもどうか。車ではなく歩いて街を回るようにしたほうが良いと思う。

市長回答

ポケットパークに水飲み場や木陰がないところがあったが、調整を進めている。「水物語」と銘打って企画をしている。ゆかた祭りの日に各町でいろいろな企画を試みた。ポケットパークの水路にゴミが詰まったと市役所に連絡があったが、市でも管理していくが、町の人も協力してほしいとお願いしている。

出席者

ポケットパークは元々滋賀県甲賀町が発祥の地であり、見学にも行ったが、行政で100万円の補助金を出して、街の人達が労力を出し合って自分達で作った。大町はそのプロセスがなく、業者が作ったことが間違っている。今では子どもの溜まり場になってしまっている。

市長回答

行政は物を作ることは得意であるが、管理することは苦手な組織である。市民の皆さんに協力を求めて行きたい。

出席者

資料の11ページ、施策の3つ目の食育について、市の取り組みを教えてください。あと大町病院について、薬をもらいにいった時に窓口であいさつがなかった。

市長回答

食育は、現在市民課、教育委員会、農林水産課などが連携して来年度中に計画を策定することになっている。子どもが朝食を抜くなどが問題になっているが、生活のリズムを家庭のリズムで作ることからはじめていけるようにしていきたい。

大町病院は、私自身病院に行き、カウンターに話しかけたりしている。パソコン入力している人はどうしても下を向いているが、受付の人がどうか見ている。病院でも医師等の職員と10回懇談している。市長として言うことは言い、働きかけていく。評判が悪いといわれているが、具体的に直して行きたいので、気づいたことは病院や市へ言ってほしい。

出席者

直売所から東小へ野菜を入れている。子どもがおいしいといってもらっているようで、残飯も少ないようだ。市内全部の学校に取り入れてみてはどうか。

市長回答

県で田中知事の時代に、地元の食材を学校で使うように指示があり、検討したが問題もあった。1回の調達の数量が多すぎることや規格のバラつきがあって、調理の際、皮むき機械などでの対応が困難で県ではできなかったが、市ではなるべく入れて行きたい。食育計画も進めて行きたい。

出席者

農具川について、河川の中に柳や胡桃の木が生えている。直径20センチほどの太さがあり、災害時などに物が引っかかることや、流れて被害を出すことが心配される。市や県

へ伐採を要請したがまだ行われていない。3年ほど前の市政懇談会でも提案している県に働きかけるといった回答だった。関連して、昭和橋の下流には川に下りるはしごがない。何かあったときに降りることができないので設置してほしい。

自治会長

自治会から河川の管理者に言ってある。やるという返事はまだ貰っていない。

市長回答

管轄は県であるが、建設事務所に確認して回答する。

飯島議員

はしごは、簡単に設置は難しいのではないかと。陳情については市から国や県に話はいっている。法律などでも決まっていることもある。

出席者

早春賦について、大町は早春賦の会があるが、市の歌に指定するぐらいにしてはどうか。当面行政主導で進めてほしい。

市長回答

映画を観たが、安曇野市のイベントは作詞者の吉丸さんの関係者を呼んだのがよかった。大町のものは仲間内だけでやってしまい、広がりが乏しかった。

出席者

黒部の太陽という映画のイベントを前に行ったが、第2回、3回とやってみてはどうか。見たいという人の意見も聞こえる。

市長回答

そのイベントは、石原プロの全面的なバックアップがあって実現したので、第2回は難しい。一過性のものではなく、続けていけるものを考える必要がある。小樽に石原裕次郎記念館があるが、そこが閉まるようなので、関連した展示品をもらってきてはどうかという案も。

出席者

運動公園の多目的広場となりのトイレが水洗式ではない。大きなイベントを呼ぶなら考えてほしい。ほかにも陸上競技場のトイレも同じ。

市長回答

自分でも回ってみたが、状態はよくない。市の体育施設改修に合わせて検討してみたい。トイレの印象が観光地の印象となるので、気をつけて行きたい。

出席者

風林火山のイベントがよかった。仁科神明宮のトイレがきれいでとてもよかった。

市長回答

今JRのトイレが廃止されつつある。そこに市でトイレを作り、住民の方に管理してもらおうとも考え進めている。

出席者

駅前の新しくできたトイレに若者がたむろしている。

市長回答

確認していないので、確認してみる。青少年育成団体と連携していきたい。

出席者

大きなスポーツ大会を行うのに、飯山では1人2,000から3,000円出してやっている。大町では、先日も大会があったが、みんなボランティアでやってくれる。とてもいい気質であり、育てていったらと思う。

市長回答

先日の全日本大学ソフトボール大会は開催地が伊那で決まっていたが、事情で急遽回ってきた。大町は大きな大会を受け入れるノウハウもある。また、過去の全国大会では手分けして各チームに案内人をつけ、その人がなんでも窓口となってくれたことが、とても評判だった。

出席者

大きな大会はお弁当をはじめ、地元にお金が落ちとてもよいことだと思う。

自治会長

お願いがあるが、子どもが携帯電話で事故にあうことが多くなっている。子どもだけでなく、親への教育をしてほしい。

市長回答

子どもは、携帯電話をただの電話だけでなくコミュニケーションの手段として利用している。ただ、携帯でやり取りすることもあぶないこともある。親もその危険性まで理解できないということもあるようだ。

出席者

社の育成会では数年前から家庭教育懇談会の中で取り組んでいる。保護者の勉強を社ではやってきているが、大町全体ではまだできていない。子どもが夜アクセスして昼間学校で居眠りをしている現状もあり、教育委員会で取り組んでほしい。育成会では昨年育成フォーラムで講演してもらった。群馬大学の下田先生のところにインストラクター養成をお願いしている。

市長回答

P T Aと連携して、親との連携を取って行きたい。

自治会長

市の情報センターのパソコンから有害サイトに繋がると聞いたが、市の機関でそのようなことがあるのか。

市長回答

確認してお返事する。今日出していただいたことは、メモをとり各担当課につなげていく。返答できなかったことは、まとめて自治会長に後日お答えさせていただく。また、市長への手紙も活用してほしい。広報おおまちで配布してある用紙でなくてもよいのでどんどん送ってほしい。